

# 面接試験（個別面接用）

学部学科(課程)名等

情報学部 情報社会学科

|         |  |
|---------|--|
| 選 抜 区 分 | 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜：令和8年度  |
| 面 接 官 数 | 3 人  |
| 面 接 時 間 | 約20分 （受験生1人に対して）   |
| 主な質問内容  | <p>1. 志望動機、興味、関心</p> <p>2. 情報社会学科の研究・教育内容について事前に調べたか（Web、MOVE、学部説明会、等）</p> <p>3. どのような勉強をどのようにしたいか（内容面と方法面）</p> <p>4. 卒業後の進路希望</p> <p>5. 「ミニ講義」（情報社会学科教員による「ミニ講義」）の内容についての理解と、それに対する見解について</p> <p>ミニ講義<br/> （タイトル）私たちの日常とメディアの影響<br/> （ねらい）メディアの影響力を語る理論の一つである「培養理論」について日常の事例に適用して理解・説明し、問題点に対する解決策を提示してもらおう。これにより理論・概念を、具体例を通して説明する理解力と応用力、批判的思考力を精査することが本講義の目的である。</p> <p>（概要）近年、若い女性の「痩せ願望」の高まりに伴う低体重が問題視されており、その原因としてSNSを含むメディアの影響が指摘されている。メディアが発信するメッセージが人々の考え方や態</p> |

度、行動に及ぼす影響を説明する理論がメディア効果論である。このメディア効果論に含まれる「培養理論」は、テレビに長時間、繰り返し接触することで人々の現実認識に影響が及ぶことを説明するものである。この理論は、テレビを長時間（繰り返し）視聴する人はそうではない人と比べ、社会の理解がテレビで見たことと似たような見解を持つ傾向があると主張する。1970年代に提唱された培養理論は、その後ジェンダー役割やマイノリティ、そして年齢のステレオタイプに加えて、家族の形や宗教など様々なテーマにも活用されており、研究対象はニュースやバラエティ、CMなどに広がった。テレビなどのオールドメディアの影響力が低下し、インターネットが中心となった現代でも、メディアが「培養」する現実認識の根本的なあり方は変わらないと培養理論の研究者らは考えており、ソーシャルメディアやSNSにおけるその効果を研究している。メディアの「培養効果」に関する事例からわかるのは、SNSを含むメディアの過度な利用がリスクをもたらす一方で、メディアコンテンツを通じて人々の認識を改善できる可能性があるということである。

(質問)

1. 自分または他人の考え方や行動が SNS を含むメディアから影響を受けていると感じた事例や経験を教えてください。
2. 講義では「培養理論」について学びました。配布資料を参考にしながら「培養理論」について具体的な事例を挙げて説明してください。ただし、講義で挙げられた事例以外の例を使ってください。先の質問の回答で使った事例を使っても構いません。
3. 講義で話したように、SNS を含むメディアの利用は社会的な問題をもたらすこともありますが、一方で、現在我々の生活はこのようなメディアから離れられないことも事実です。それでは、この問題を解決する方法には何かあるのでしょうか。配布資料にある、メディアに関連する多様な要素を参考にしながら、解決策を提案してください。